

令和4年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	6	災害対策費	68

部局名	市民部
課名	防災交通課

I：事業概要

施策事業名	災害対策
事業目的	各種防災対策事業を展開することにより防災体制を強化し、市民の安全・安心な暮らしを確保する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 訓練の実施、設備の維持管理、備蓄品及び資機材の整備を推進し、防災体制の強化を図る。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ○災害対策事務 <ul style="list-style-type: none"> ・実践型の防災訓練の実施 ・市民の防災減災意識の高揚を図る啓発活動 ・防災支援事業の実施(家具等転倒防止器具取付、感震ブレーカー取付補助、防災倉庫設置補助、自主防災組織立ち上げ、資機材購入補助) ○防災設備管理 <ul style="list-style-type: none"> ・防災関連機器等の維持管理 ○備蓄品管理 <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食糧や備蓄品の購入、配備 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・備蓄食料及び備蓄品の購入(消耗品費) 7,438千円 ・災害時緊急情報提供システム使用料(あんしんメール・電話・LINE) 3,351千円 ・家具等転倒防止器具取付事業委託費 388千円 ・防災用倉庫設置補助金 300千円 ・自主防災活動支援補助金(防災イス補助分を増額) 800千円 ・防災服のリニューアル 5,172千円 ・防災行政無線設備撤去工事 852千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練の実施、防災設備の維持管理、備蓄品及び資機材の整備などの事業を推進し、防災体制の強化を図る。 ・防災関連機器を適正に維持管理することで、防災機能を確保する。 ・適切な補助事業や講座等の実施により、防災の意識啓発と地域の防災力向上を推進する。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
災害対策事務	11,625	92	0	0	11,533	99%
防災設備管理	7,260	0	0	0	7,260	100%
備蓄品管理	7,959	1,356	0	0	6,603	83%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	26,844	1,448	0	0	25,396	95%

令和4年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	11	交通防犯対策費	86

部局名	市民部
課名	防災交通課

I：事業概要

施策事業名	交通防犯対策
事業目的	市民の交通安全を確保し、快適な交通環境の整備を行うとともに、誰もが安全に安心して暮らせる環境を確保する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業の全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の交通安全の確保や交通環境の整備を行い、安全で安心して暮らせる環境を確保する。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> 【交通】 <ul style="list-style-type: none"> ・犬山警察署や町会長、市民団体と連携し交通安全運動（各種キャンペーン等）を実施 ・交通安全事業実施団体へ補助金を交付し活動を支援 ・自動車運転免許証を自主的に返納した65歳以上の市民を対象に高齢者免許証自主返納支援事業を実施 ・交通環境向上のため交通安全啓発看板、反射鏡、道路停止線等を設置 ・自転車乗車用ヘルメット購入費（R3～R5）を補助 【防犯】 <ul style="list-style-type: none"> ・犬山警察署や関係機関と連携し各種キャンペーン（自転車盗、振込め詐欺等）を実施 ・自主防犯パトロール団体等が行う青色回転灯装備車によるパトロール等防犯活動を支援 ・防犯カメラの計画的な設置及び更新 ・防犯事業実施団体へ補助金を交付し活動を支援 ・町内会等が防犯カメラを設置する費用を補助 ・補助錠やセンサーライトなど防犯対策設備設置費や特殊詐欺防止用電話機器購入費を補助 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・反射鏡及び区画線の設置、修繕 4,742千円 ・防犯カメラ借上料（新たに設置・更新するものからリース形式導入） 2,100千円 ・防犯カメラ設置費補助金 1,000千円 ・防犯対策費補助金 1,000千円 ・自転車乗車用ヘルメット購入費補助金 800千円
事業の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の要望等による反射鏡設置等の交通安全対策、市による防犯カメラの設置や防犯カメラを設置する町内会等への設置費の補助等による防犯対策を進め、安全で安心な住みよいまちを目指す。 ・犬山警察署等と連携し、交通安全や防犯活動の啓発活動を実施する。 ・侵入盗への防犯対策、特殊詐欺防止用電話機器購入費補助により地域の防犯力を高める。 ・自転車乗車用ヘルメット購入費補助により、自転車乗車時の事故による被害の軽減と交通安全意識の向上を図る。

II：個別事業内訳

(単位：千円)

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
交通安全対策事務	5,448	400	0	0	5,048	93%
交通安全対策施設整備	4,742	0	0	0	4,742	100%
自転車等駐車場管理	1,454	0	0	22	1,432	98%
公共交通網整備基金積立金	1	0	0	1	0	0%
防犯推進	7,443	0	0	0	7,443	100%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	19,088	400	0	23	18,665	98%

令和4年度 予算説明書

予算			目名	予算書(P)
款	項	目		
2	1	11	交通防犯対策費	86

部局名	市民部
課名	防災交通課

I：事業概要

施策事業名	コミュニティバス運行
事業目的	交通空白地に居住する交通弱者等の交通手段の確保と日常生活の支援拡充を図る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●全体計画 <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が安全、安心に利用できるよう、運行事業者と連携し、コミュニティバスを維持継続する。 ・利用者の利便性向上のため、アンケート調査などを通し、ニーズを把握する。 ・新たなバス運行の検討をする。 ●主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス（愛称「わん丸君バス」）車両8台、8路線、月曜日から金曜日の平日毎日（祝日含む）運行 ・バスロケーションシステム運用、パス券の販売 ・インターネット経路検索を可能とする、標準的なバス情報フォーマット（GTFS）の提供 ・令和5年12月のコミュニティバス再編に向け、デマンド交通の実証実験により導入可否を検討し、運行ルート等の総合的な見直しを実施 ・まちづくりと連携した公共交通ネットワークの構築を目的とした地域公共交通計画の策定に着手 ・今井地区で中学生の通学サポート事業を支援するための経費（車両利用料、保険料など）を一部負担 ●主な予算の内訳 <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス運行負担金 66,887千円 ・今井地区移動支援事業 543千円 ・コミュニティバス再編業務委託料 3,512千円 ・犬山市地域公共交通会議負担金 10,387千円 <ul style="list-style-type: none"> うち地域公共交通計画策定事業分 5,387千円（R4）、3,641千円（R5） うちデマンド交通実証実験事業分 5,000千円
事業の目標	利用者の満足度向上と利用者増に向け、市民ニーズを捉え、利便性の高い公共交通の在り方を目指す。

II：個別事業内訳

（単位：千円）

事業名	予算額	財源内訳				一般財源の割合
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
コミュニティバス運行	83,045	0	0	8,719	74,326	90%
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-
合計	83,045	0	0	8,719	74,326	90%